

早稲田の杜
金管合奏団

Waseda Brass

第23回 定期演奏会

2024年2月25日(日)
開演 13:30 (開場 13:00)
日本橋公会堂



曲目解説

第1部

3つのプラス・クワイアのためのアンティフォナル・ファンファーレ

A・プリス作曲

イギリスの作曲家アーサー・プリス (1891-1975) が、1969年に現在のイギリス国王チャールズが皇太子になった時の式典のために作曲したファンファーレです。アンティフォナルというのは「交声」とか「交錯」という意味で、会場の3方向から音が交錯する効果を狙って作られました。本日は舞台と左右の桟敷席の3か所から音が交錯する効果をお楽しみください。

音楽の饗宴より

J・H・シャイン作曲 山本教生編曲

ヨハン・ヘルマン・シャイン (1586-1630) は、17世紀に活躍したドイツの作曲家です。同時期に活躍したハインリッヒ・シュッツ、サミュエル・シャイトとともにドイツ・バロックの3Sと呼ばれています。本日はパドゥアーナ／ガリアルダ／アルマンド／トリプラの4曲からなる組曲を演奏します。

歌劇「魔笛」より二つのアリア

W・A・モーツァルト作曲

モーツァルト（1756 - 1791）の傑作歌劇「魔笛」第2幕から有名なアリア2曲を、編成を変えたアンサンブルでお届けします。

(1)ザラストロのアリア（トロンボーン5重奏）

R・シュルツ編曲

大祭司ザラストロ役のバス歌手が主人公の王子タミーノとパミーナが結ばれることを神々に祈る第10番のアリア「おおイシスとオシリスの神よ」をトロンボーン5本の重厚な響きでお楽しみください。

(2)夜の女王のアリア（金管5重奏）

D・マーラット他 編曲

夜の女王役のソプラノ歌手による呪いと復讐を誓う第14番のアリア「復讐の炎は地獄のように我が心に燃え」を、ピッコロトランペットのハイトーンを駆使した金管5重奏でお贈りします。

歌劇「ナブッコ」序曲

G・ヴェルディ作曲 T・ヒギンス編曲

イタリアの作曲家ジュゼッペ・ヴェルディ（1813 - 1901）が、1842年に作曲した歌劇「ナブッコ」の序曲を演奏します。この歌劇は旧約聖書に書かれているユダヤ人がバビロニア王国の捕虜にされた「バビロンの捕囚」という物語を題材にしています。中間部に出てくる合唱曲「行けわが想いよ、黄金の翼に乗って」は、祖国を思う曲であることから、イタリアの第2の国歌とも言われるほどイタリア人に愛唱されています。

【休憩】

第2部

ルパン三世のテーマ

大野雄二作曲 岩村雄太編曲

1977年から1980年に放送されたTVアニメ「ルパン三世」のオープニングテーマです。放送から40年以上経った現在でも、再放送や劇場版のTV放送により、根強い人気のアニメとなっています。作曲者の大野雄二は数多くの映画やアニメの音楽を手掛けていて、「ルパン三世」のほかにも、「犬神家の一族」や「人間の証明」などがよく知られています。

キャンティレーナ

P・スパーク作曲

イギリスの作曲家フィリップ・スパーク（1951-）が、ノルウェーで行われた金管バンド・フェスティバルの課題曲として作曲しました。2011年、東日本大震災の惨状を知ったスパークは、震災からの復興を祈念して「陽はまた昇る」というタイトルで吹奏楽用に編曲し、日本国内で広く演奏されるようになりました。

フローラルダンス

K・モス作曲 D・ブロードベント編曲

イギリスの作曲家ケイティ・モス（1881-1947）が作曲した軽やかな踊りの音楽。原曲は歌でしたが、金管バンド用に編曲されたものが、炭鉱町のアマチュア金管バンドを描いた映画「ブラズ」の劇中で使われました。

サー・デューク

スティービー・ワンダー作曲 G・リチャーズ編曲

1976年に発表されたスティービー・ワンダーのアルバム「Songs in the Key of Life」に収録されている曲で、発表の前々年の1974年に亡くなったジャズの巨人デューク・エリントンへのトリビュート作品です。全楽器が同じメロディを演奏する部分が印象的で、普段めったにメロディを奏でることのないチューバにとってはなかなかハードルの高い曲です。

植木等名曲メドレーwith シャボン玉ホリデー(トロンボーン・アンサンブル)

萩原哲章ほか作曲 内田憲一編曲

植木等は1960年頃から人気を博したコミックバンド“クレージー・キャッツ”の一員として活躍、特にテレビ番組シャボン玉ホリデーなどを通じてお茶の間の人気コメディアンでした。と言っても、ご存じの方はだいぶ減っていることでしょう。本日はその彼の代表曲の中から「スーダラ節／ハイ、それまでよ！／無責任一大男」の3曲を、シャボン玉ホリデーのオープニングとエンディングテーマと共にトロンボーン7本で演奏します。

ジョン・ウィリアムズ・メドレー

ジョン・ウィリアムズ作曲 由谷一幾編曲

映画音楽の巨匠ジョン・ウィリアムズが作曲した代表作4曲をメドレーにしました。1曲目は「スター・ウォーズ」(1977)のメインテーマです。2曲目は1975年に公開された「ジョーズ」です。低音楽器により、人喰い鮫が迫ってくる不気味さが描かれています。3曲目は1981年に1作目が公開された「インディ・ジョーンズ」のマーチです。昨年、15年ぶりに5作目となる「運命のダイヤル」が公開されました。4曲目は「ジュラシック・パーク」(1990)です。ジュラシック・パークは3作品が製作されましたが、さらに設定を変えた「ジュラシック・ワールド」シリーズが3作品制作されています。

早稲田の杜金管合奏団

Waseda Brass

Conductor	中島章博
Trumpet	磯崎直人 大内仁 楫野敏正 北村和弘(コンサートマスター) 久保正彰(司会) 武内昌徳 坪井賢一
Flugelhorn	磯崎直人 大内仁 坪井賢一 山瀬幸雄
Horn	川俣裕章 楠本和代 高橋正幸 辻村憲治 矢澤元 吉井由希子 渡辺勇次
Trombone	内田憲一(団長) 小倉啓美 加藤寛基 白土英治 天明昭男 西本江里 原田京一
Euphonium	石坂匡史
Tuba	青木祐介 今泉康弘 牛野広一郎 駒形正人
Percussion	小田崇史 田中厚 中村純子 野田俊也 三浦明子 渡辺裕子
Stage manager	川俣裕章
Orchestration	内田憲一 山瀬幸雄 由谷一幾
Librarian	大内仁

中島章博（指揮者） profile

早稲田大学理工学部、東京大学工学系研究科修士課程を経て同博士後期課程へ進学した後、2007年よりオーストリア共和国立ザルツブルク・モーツァルテウム大学指揮科に留学。2010年に帰国後、博士後期課程を修了し建築音響工学の分野で博士（工学）を取得。2019年、第2回 CITTA' DI BRESCIA GIANCARLO FACCHINETTI 指揮コンクールセミファイナリスト。指揮を故クルト・レーデル、デニス・ラッセル・デイヴィス、ホルヘ・ロッター、曾我大介、シメオン・ピロンコフの各氏に、フルートを湯川和雄、岩佐和弘の両氏に師事。これまでに日本、オーストリア、チェコ、リトアニア、エストニア、ブルガリア等で各国のオーケストラを指揮する。近年は作曲・編曲活動にも力を入れており、テレビアニメやCMへの楽曲提供、各オーケストラへ編曲作品の提供を行うと共に、自作のオーケストラ作品も積極的に指揮している。また、TBS テレビ「マツコの知らない世界」にて奏者として加わったマツコ・デラックス氏と共演したほか、乃木坂46「羽根の記憶」のミュージックビデオ、日本テレビ製作のドラマ「ボク、運命の人です」等、メディアへの出演も多い。2021年度ズーラシアンブラスお友達プレイヤー（指揮）。早稲田の杜金管合奏団は2006年～12年マレーシア演奏旅行、2011、13、15、17、22年岩手県演奏旅行、2016、18年ロシア演奏旅行、2007年以降の定期演奏会など、各種演奏会で指揮している。

ワセキン年次報告 Annual Report

2023年は2月の第22回定期演奏会終了後、第3回「桜の礼拝堂日曜午後のコンサート」の準備に入りました。「桜の礼拝堂」は、静岡県御殿場高原「時の栖（ときのすみか）」にたたずむ教会の美しい礼拝堂です。コンサートは猛暑が継続していた9月17日に開催され、ホロヴィッツの「ミュージック・ホール」組曲、ガブリエリの第12旋法によるカンツォン、8重奏による「サウンド・オブ・ミュージック」などを演奏しました。2024年は本日の定期演奏会を終えますと、2011年以来継続している震災復興祈念岩手県ツアーの準備を始めます。

最後に、2023～24年シーズンにご指導いただいた敬愛する音楽家のみなさまをご紹介します（五十音順／敬称略／文責・坪井賢一）。

今井彰・・・早稲田大学交響楽団を経て東京芸術大学卒業後、東京フィルハーモニー交響楽団へホルン奏者として入団し、2021年に定年退職。現在は各地の音楽団体に指導にあたっています。

今瀬康夫・・・国立音楽大学卒業。ホルン奏者として活動すると同時に、内外の音楽大学の講師、プロデューサーとして欧州・アジア各国で国際的に活動中です。

小久保大輔・・・1998年東京音楽大学器楽科卒業。指揮を桐田正章、汐澤安彦の各氏に、トランペットを林昭世氏に師事。現在、多くのアマチュア団体の音楽監督や指揮者として活躍中です。



03-5480-2468

■〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-3-7 2F
■営業時間 / (平日) 11:00～19:00 (土曜・日・祝日) 10:00～18:00
■Fax : 03-5480-2469 E-mail : joybrass@joybrass.co.jp

JOY BRASS
since 1995